

乾腐病に強いラッキョウ新系統について（補足資料）

園芸試験場では、主に種球で伝染する乾腐病という土壌病害に強いラッキョウの新品種の育成に取り組んでいます。

バイテク手法により、在来系統と乾腐病に強い近縁種との交雑を行い、乾腐病に強く、在来系統と同等の食味を有する新系統‘R5’を育成しました。乾腐病菌の接種試験およびほ場での栽培試験でも同病害による欠株が少なく有望と考えられました。

そこで、乾腐病による減収が特に問題となっている有機栽培で本系統の実用性を明らかにするため、現在、有機栽培の生産者のもとで試作に取り組んでいます。

○ラッキョウ新系統‘R5’の特性

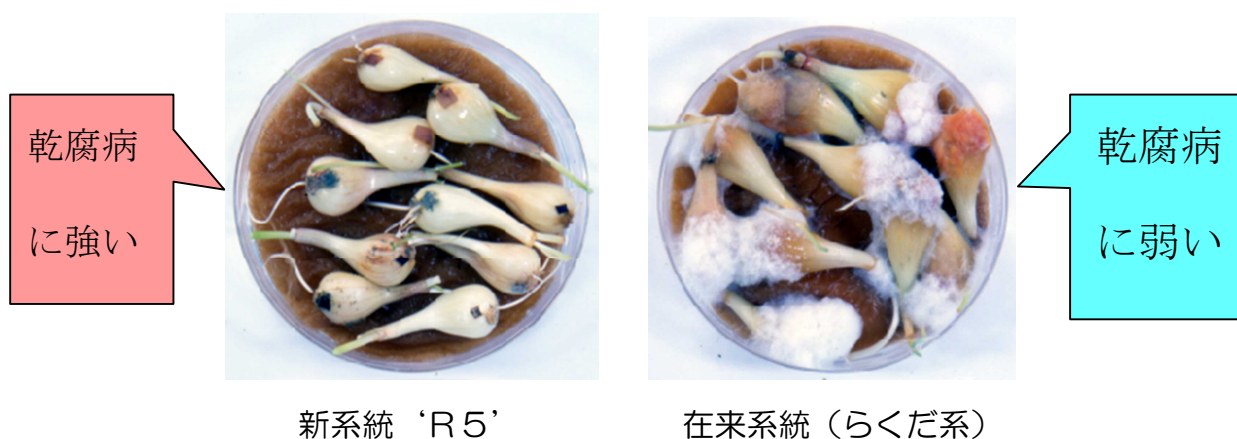


図1 ラッキョウ新系統‘R5’および在来系統の接種試験

表1 ラッキョウ新系統‘R5’の栽培試験結果（2011年度）

系統名	全重 (g)	鱗茎重 (g)	分球 数	1球重 (g)	欠株率 (%)	換算 収量 (t/10a)
R5 (乾腐病耐病性新系統)	98.5	41.3	6.4	6.5	5.0	1.6
らくだ系 (在来系統)	104.3	46.1	6.2	7.4	32.1	1.3

注) 種球の薬剤消毒無処理での県中部慣行栽培による結果